

前回(11月21日付)は、全長約3千キロの「九州自然歩道」の福岡県みやこ町から香春町の大坂山までの歩き旅でした。今月は、源じいの森(同県赤村)へと歩を進めます。

大坂山を下ると再びみやこ町に入り、県道204号を歩きまわす。舗装路を歩いていると、安心した気持ちになりました。山道を歩くのは何があるか分からない楽しさと不安が交じりまわす。舗装路は人里を感じることができて安心します。

あるこ!

九州自然歩道の旅⑤

福島 優



ゆったりとのんびりできる「源じいの森温泉」



香春町—赤村

ここから赤村の自然学習村「源じいの森」までいくつかの集落を越えていきます。自動車や電車で行く観光や旅行の目的地にはならない場所かもしれませんが、歩き旅ではそんな小さな集落も通ります。散歩をしたり、子どもと遊んだりしている地元の方がいらっしやいます。地域の暮らしの空気を感じること

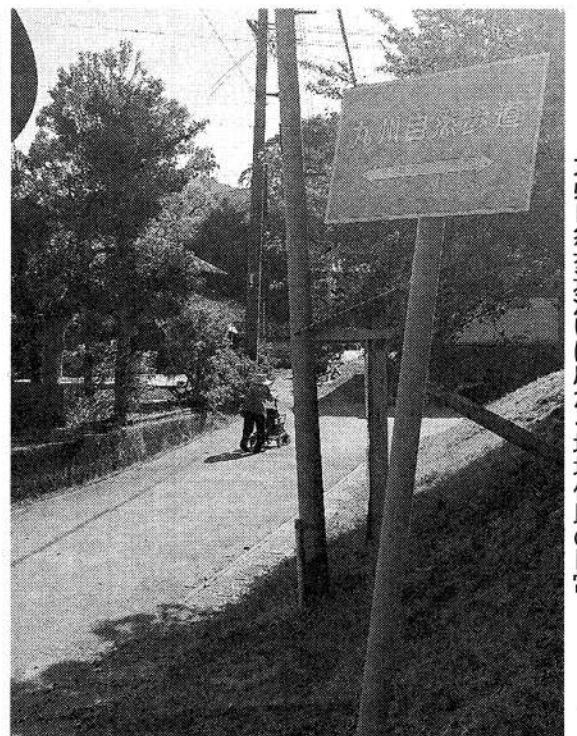
地域の暮らしを感じて

ここから赤村の自然学習村「源じいの森」までいくつかの集落を越えていきます。自動車や電車で行く観光や旅行の目的地にはならない場所かもしれませんが、歩き旅ではそんな小さな集落も通ります。散歩をしたり、子どもと遊んだりしている地元の方がいらっしやいます。地域の暮らしの空気を感じること

感じる約9キロのコースでした。3時間の短い中、地域に住む人たちの日常へ入り込んだ気持ちになりました。来月は、福岡県赤村・添田町にまたがる特牛岳、そして油木ダム(添田町)へと向かいます

(九州自然歩道フォーラム会員 福岡市)

毎月第3木曜掲載



九州自然歩道沿いに広がる地域住民の日常

とができます。

集落を越え、今川が見えるところようやく赤村の「源じいの森」に到着です。平成筑豊鉄道田川線の駅名にもなっている自然学習村の「源じいの森」は、キャンプ場やロッジ、研修施設、温泉施設などがあります。九州自然歩道の起点である皿倉山を出発してから初めての温泉施設です。

私も歩き旅の疲れを癒やすために温泉に立ち寄りしました。早速、露天風呂にゆったり漬かります。周りは山の中の静かな環境。自然の音や風、匂いに囲まれた露天風呂はぜひたくです。九州自然歩道の多くの場所は、街から離れた静かなところを歩くことが多いため、都会の



ていくと、後山集落に着きます。十数軒の家屋が立ち並ぶ昔ながらの風景で、集落の歴史を感じます。集落を抜けると里道に入ります。竹林の間を行く里道沿いにも九州自然歩道の看板があり、テクテクと進んでいきます。そして林を抜けると大伊良地域へ到着です。

皿倉山を出発して久しぶりにゆっくりし、さまざまな人里を